

2009 年度事業報告書

1. 国際交流の機会提供及び参加促進事業

(1) 多文化共生講座の開催

事業名称＝ハロハロ☆ikoryu～知ってみよう・やってみよう・異文化!

目的＝①外国人市民たちの個性豊かな文化や生活を、地域住民と一緒に体験交流する機会を提供し、外国人市民と日本人市民の相互理解を促進する。

②外国人市民同士をつなげ、交流する場を提供し、地域で安心して暮らせる環境の整備を促す。

③多文化共生・国際化に取り組む行政や NPO 関係諸団体との連携を図る。

後援団体＝生駒市、生駒市教育委員会、奈良・在日外国人保護者の会生駒

内容＝7月5日(日) ハワイ day 図書会館大会議室 参加人数 46名

10月18日(日) ミャンマー day 中央公民館研修室3 参加人数 28名

12月20日(日) 第3回 ikoryu 音楽祭コミュニティセンタ 参加人数 323名

* 奈良県平城遷都 1300 年祭記念補助金事業

2010年3月7日(日) ブラジル day 中央公民館調理室 参加人数 52名

(2) 多文化共生教育推進事業(自治体国際化協会補助金事業)

事業名称＝ハロハロ☆デティクラブ & ハロハロ☆ミーティング

目的＝豊かな感性を持つ子どもたちが、人種、民族、言語、宗教、文化などの壁を乗り越え、互いの違いを認め尊重し合い、自尊感情を育む教育活動。

①多様な母語・文化・背景を持つ子ども同士の出会いと交流の場

②地域の子どもたちの多文化共生教育の場

③外国人保護者が子どもと一緒に参加し、なんでも話し合える場

後援団体＝生駒市、生駒市教育委員会、奈良・在日外国人保護者の会生駒

日時＝毎月第2土曜日 13:00～15:00 全8回開催

6/13, 7/11, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13

場所＝俵口町自治会館

参加人数＝子ども 101名 保護者・スタッフ 93名(全8回延べ人数)

国籍・ルーツ＝中国・ロシア・チェコ・ブラジル・エルサドバドル・日本

内容＝別紙のとおり

運営方法＝デティクラブ運営委員会で協議する

運営委員＝ikoryu 事務局＋ボランティアスタッフ

事業の成果＝

- ・多様な母語・文化・背景を持つ子ども同士が集い、共に学び合える場を一定期間継続して提供することができた。
- ・あわせて地域の子どもたちも多数参加し、多文化共生・国際理解教育を推進することができた。
- ・保護者も子どもたちと一緒に参加し、外国人保護者のネットワークを形成することができた。

2. 在住外国人に対する支援事業 *外国人等多文化共生に伴う活動団体補助金

事業名称＝外国人住民教育推進子ども育成事業

目的＝外国籍、及び、外国にルーツを持つ子どもたちのエンパワーメントと
仲間作りを目的に、母語教室、並びに、民族文化講座を開催する

企画運営＝事業主体である特定非営利活動法人いこま国際交流協会が、生駒市、
生駒市教育委員会、奈良・韓国教育院の協力を受けて行う。

事業概要

①生駒オリニ会（全20回）

場所 奈良韓国教育院 奈良市芝辻町1丁目87番3

内容 韓国語及び韓国文化の学習

対象 コリアをルーツに持つ小学生までの子ども

参加人数 16人

効果 ・継続して、月2回、韓国語教室を開催することができた。
・年齢と習熟度に合わせた学習を進めることができた。

②奈良コリアンユース Hwami-s（全7回）

場所 生駒市南第二小学校体育館、南コミュニティセンターせせらぎ

内容 韓国民族打楽器「チャング」のワークショップ

対象 コリアをルーツに持つ中学生・高校生・青年

参加人数 12人

効果 ・ワークショップを開催することで、新規メンバーの開拓につながった。
・プロのチャング奏者から本格的な指導を受け、各自のスキルアップにつ
ながると同時に、メンバー相互の信頼関係を深めることができた。
・ikoryu 音楽祭に出演するなど、多文化共生活動の実践につながった。

③子ども中国語教室(全6回)

場所 俵口町自治会館、市民活動推進センターららポート

内容 中国語の学習

対象 台湾・中国をルーツに持つ子ども

参加人数 8人

効果 ・増加傾向にある中国・台湾につながる子どもたちの活動場所ができた。
・第4回と第5回の無料体験教室には、日本人の子どもも含め延べ48人
が参加し、地域交流の機会を作ることができた。
・中国人保護者同士が交流し、親睦を深める場を作ることができた。

3. 国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業

(1) 第8回子ども国際交流の集い「わいわいワールド」への参加
インフルエンザのため、中止

(2) いこまどんどこまつりへの出店

日時＝8月1日(土) 場所＝健民グラウンド

販売品＝スーパーボールすくい(1回100円×300回分準備)

(3) 講師派遣事業

- ①多文化共生教育推進事業プログラムの作成・実施
- ②生駒市多文化共生教育推進事業 小学校6校、保育園・幼稚園6校
- ③人権研修 5団体

4. 国際交流に関する情報の収集及び提供事業

(1) ニュースレター『国際交流いこま』の発行 600部発行

年4回を目標にして、現在18号まで発行

発行日：2009年9月30日、11月15日、2010年2月15日、5月20日

対象：会員、市内公共施設、関係団体（発送件数180件）

(2) ホームページの管理・運営

2010年5月からリニューアル、自主管理

5. 国際交流に対する調査及び研究並びに受託事業

(1) ikoryu 音楽祭の開催(再掲)

総事業費=607,101円

(内、県民活動支援事業平城遷都1300年祭記念事業補助金27万円)

日時=2009年12月20日(日)午後1時～4時

場所=生駒市コミュニティセンター 文化ホール

<実施内容>

平城遷都1300年祭を記念して、「シルクロードをたどる世界の音楽」をテーマに、古代から日本と文化交流が盛んであった中国・韓国をはじめ、シルクロードの音楽や踊りを通して、地域社会における文化交流のすばらしさを体感できる市民手作りの音楽祭

<事業成果>

- ① 平城遷都1300年祭に連動し、古の国際都市「なら」の文化と歴史に学びながら、地域社会における国際交流・多文化共生のまちづくりの一つとして本事業を実施することができた。
- ② 日本を含む世界各地の民族固有の歌や楽器、踊りを通して、地域社会における異文化交流のすばらしさを発信することができた。
- ③ プロ級の方から地域の高齢者や子どもたち、外国人市民も一緒に出演し、素晴らしい伝統民族音楽を通して、多民族・多文化共生の輪が広がった。
- ④ 行政及び大学や関係諸団体の後援を受け、本事業への理解と協力を得ると共に、県民に広く広報することができた。
- ⑤ 音楽祭準備会を通して、スタッフ相互の理解と信頼を深めることができた。

(2) 外国人住民教育推進子ども育成事業(再掲)

総事業費=307,345円(

(内、生駒市外国人等多文化共生に伴う活動団体の補助金15万円)

(3) ハロハロ☆デティクラブ&ハロハロ☆ミーティングの開催(再掲)

総事業費=332,000円(地域国際化協会等先導的施策支援事業補助金28万円)

6. 市民、NPO、行政との協働・ネットワークの推進

(1) 行政との連携

- ①生駒市市民活動推進センターららポートへの登録
連絡調整懇話会への参加
「らら♪まつり」(2月27日開催)への参加 舞台発表と活動紹介ブース
- ②行政が行う委員会や会議等への参加
 - ・生駒市人権施策審議会 委員
 - ・生駒市市民自治推進会議 委員

(2) NPO団体との連携

- 外国人労働者奈良保証人バンク 中国籍親子の定住資格取得に向けた取り組み
- (特活)地域活動支援センターぶろぼの
- (特活)奈良NPOセンター
- (特活)関西国際交流団体協議会

(3) 生駒市の多文化教育・日本語教室の充実・発展を求める市民連絡会への参加 多文化共生教育推進事業は、2010年度も継続事業として存続。

(4) 奈良県・外国籍教員の採用を実現する連絡会への参加 2010年度奈良県教員採用試験で、韓国籍1名合格 奈良県で初めて、外国籍(在日コリアン)教員誕生

(5) 生駒市市長選挙候補者への公開質問 「今後の生駒市の国際化施策について」

7. 役員・理事会・事務局会議の開催

(1) 2009 総会の開催

日時=2009年7月5日(日) 午後1時~2時
場所=生駒市図書館大会議室
出席人数=41名(うち委任状出席26名)

(2) 理事会の開催

日時=2009年6月18日(月) 午後7時~9時
場所=生駒市中央公民館研修室1
出席人数=理事・監事6名 事務局3名

(3) 事務局会議の開催 全9回開催

会議の定例化 毎月第2月曜日 午後7時~9時